

⑭ 雇用の安定・確保と人材育成

2040年に実現したい姿

【労働の需給バランスが確保され誰もが充実した職業生活が送れる社会】

- ⑦ 労働需給のバランスが確保され、安定した多様な働き方が実現しています。
- ⑧ 若者、中高年齢者、女性、障害者、外国人労働者などの誰もが意欲的に働くことができる魅力ある職場づくりが進み、充実した職業生活が実現しています。

4年間の対応方向・具体方策

産業施策と一体となった雇用を創出するとともに、働き方の多様化やライフスタイルの変化を踏まえた誰もがいきいきと働ける環境づくりを進めます。

- 1 京都府生涯現役クリエイティブセンターにおけるリカレント教育の取組等を通じて、成長・新産業分野等において中小企業等が求める人材を育成し、スキルアップやスキルチェンジなど、人への公共投資を進めることにより、業種・職種を超えた人材移動を促進するとともに、成長・新産業分野等で活躍する人材を確保します。
- 2 高度・専門・経験・積極人材などの多様な人材や柔軟な働き方を求める企業及び働く方々のニーズを的確に捉え、一元的に把握し、人材育成から労働移動を含む就業までシームレスに支援するための「京都産業人材開発・育成センター（仮称）」の設置に取り組みます。
- 3 PBL手法を取り入れた学生の中長期の有償型職場体験（就職トライアル）等の実施を支援することにより、課題解決を通じて業界について学び、企業理解を深めることで、魅力ある府内企業への若年世代の就職に繋げ、京都産業人材を確保します。
- 4 京都ジョブパークの機能を強化し、アウトリーチ型就業支援メニューを提供するなど、景気の影響等を受けやすい非正規雇用女性等や就職氷河期世代をはじめとする、働きづらさを感じている方の「働きたい」気持ちに寄り添った就業支援を実施します。
- 5 教育機関と連携し、高校卒業時や大学低回生からのキャリア教育を促進するとともに、「3年の壁・再チャレンジプロジェクト」として、新卒3年以内の早期離職者に向けたカウンセリングやインターンシップ、必要な研修会を実施するなど、ブランクを空けない職業復帰を支援し、雇用の安定を確保します。
- 6 採用力・定着力の向上や就労環境整備、多様な働き方制度の促進など、中小企業の雇用の安定に向けた取組を進めます。また、高度人材の確保に向け、AIやIoTの活用等により、「京都お仕事マッチング診断ジョブこねっと（ジョブこねっと）」に登録された求職者に対して、企業から積極的にアプローチするなど、マッチング機会を拡大します。
- 7 正規雇用を希望しながら非正規で働く方へ、必要に応じたスキルアップ支援をするとともに、中小企業の経営者の意識改革・働き方改革を支援し、正規雇用に向け、京都ジョブパークや産業雇用安定センター、京都府生涯現役クリエイティブセンターなどが連携して開催する京都ジョブ博等により、求職者と企業とのマッチングを促進します。
- 8 中小企業の人材確保と従業員の定着及び奨学金を返済する働く若者の負担軽減を図るため、中小企業応援隊や経済団体をはじめとした関係機関と連携し、奨学金返済支援制度の普及を促進します。また、制度導入企業を「京都ジョブナビ」に掲載するなど、企業の魅力発信を支援します。

9 「京都ジョブナビ」や「ジョブこねっと」等各種サイトを活用した企業の情報発信の強化や、「中小企業人材確保推進機構」において、京都ジョブ博の開催等により、企業と求職者の出会いの場を創出するなど、中小企業の人材確保を進めます。

10 ひきこもりからの自立を促進するため、脱ひきこもり支援センターを中心に、市町村や民間支援団体、京都ジョブパークと協働・連携し、早期支援体制の構築、訪問・相談支援を実施するとともに、中間的就労から一般就労への段階的かつきめ細かな就労支援など、社会的自立支援を実施します。

就労環境の改善・整備により、多様な人々が柔軟で働きやすい環境づくりを進めるとともに人材育成を強化します。

11 京都府生涯現役クリエイティブセンターにおいて府内の大学や経済団体等が参画した新たなプラットフォーム組織「京都府リカレント教育推進機構」と連携しつつ、相談からリカレント教育、就労や実践の場とのマッチングなど、トータルにコーディネートするとともに、若者から高齢者まで、あらゆる世代が参加できるリカレント教育の機会を提供することにより、生涯現役で活躍するための支援の強化に取り組みます。

12 関係教育機関と京都産業の人材育成に取り組むため、「京都リカレント研修センター（仮称）」の拠点化を進めます。

13 オンラインやメタバース等の技術を活用し、時間や場所を問わない学び直しの機会を提供する、「京都版ミネルバ大学」の開設に取り組みます。

14 国や経済団体、教育機関等と連携し、デジタルの知識やスキルについて学べる機会を提供する仕組みづくりを行うとともに、デジタル化に取り組む企業のコンサルティングや人材確保を支援するほか、太秦メディアパークにおけるメタバース時代のマルチコンテンツ制作人材の育成や、情報産業業界と連携した情報セキュリティスキルの向上支援など、デジタル社会への対応に向けた取組をオール京都体制でサポートします。

15 健康・医療や脱炭素等の社会課題解決を通じた新たな産業創造に、分野横断で取り組むクリエイティブ人材の育成に向けて、産学公連携のオール京都体制で取り組みます。

16 子育てにやさしい職場環境づくりを提供するビジネスモデルとして、子連れコワーキングスペースの設置など「子育てにやさしい職場環境づくりサービス」の創出を支援します。

17 留学生創業支援センター（仮称）を創設し、京都ジョブパークや留学生スタディ京都ネットワークとの連携のもと、京都に集まる留学生が、京都に残って活躍できるよう支援します。

18 「産学公連携海外人材活躍ネットワーク」において、研究者等の高度外国人材や介護・農業など特定技能者等の外国人、留学生が安心して活動し暮らせるための受入体制を構築し、人材確保から働き続けられる環境整備の支援、インターナショナルスクールの誘致や居住環境面の相談、地域の多文化共生まで、ワンストップで支援します。

19 京都府テレワーク推進センターを拠点に経済団体などと連携し、若者、中高年齢者、女性、外国人及び障害者等、一人ひとりがその意思や能力などの個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択できるよう、サテライトオフィスやテレワーク、時間単位の年休制度の導入支援等、働きやすい環境づくりを進めます。

20 ブラック企業、ブラックバイトの根絶に向け、中小企業等を対象に、セミオーダー型の「誰もが働きやすい職場づくりに向けたセミナー」を開催し、経営者や従業員に向けたワークルールや多様な働き方等の理解を促進します。

21 府内建設産業の維持発展に向けて公共事業を計画的に執行するための安定的・継続的な予算の確保と原則府内発注に努め、雇用創出につなげるとともに、DXをはじめとする生産性向上の取組などを通じた働き方改革や、インターンシップ、ICT活用現場見学会の実施などによる魅力発信により、担い手確保を進めます。

22 職場におけるハラスメント対策の周知啓発や、多様性を受け入れる環境整備等についての理解を促進します。

23 首都圏・近畿圏・府内大学と締結した就職支援協定に基づき、京都産業や京都企業の魅力を大学へ発信することにより、京都企業への就職を促進するとともに、京都企業自体が京都で学んだ学生を積極採用する仕組みを構築します。

24 京都障害者雇用企業サポートセンターにおいて、企業の取組状況に応じた業務の切り出しや職場環境改善、障害者雇用の好事例の紹介など、関係機関との連携により一貫した伴走支援をオーダーメイド型で展開し、法定雇用率達成企業割合の増加をめざします。

25 「京都はあとふる企業」認証企業の好事例や、障害者雇用をきっかけとした業務手順の見直しや、組織全体の最適化につながることを広く紹介し、障害者雇用の有効性をアピールするとともに、勤務形態の多様化など、働きやすい職場環境づくりを通じて、障害者を安定して雇用することができる環境づくりを進めます。

26 府庁職員・学校の教職員への障害者の雇用を進めます。

27 AIやIoT等を活用した超スマート社会の到来など社会経済情勢の変化を踏まえ、「知（地）の拠点」にふさわしい新生・京都府立大学に向けた学部学科再編と教育研究環境の充実・整備により、地域・産業を担う人材育成に取り組みます。

28 大学の「知」と学生の「力」を結集し、地域で発揮できる環境づくりを促進するため、「地域共創型大学連携」の場を構築し、府内外の大学との連携を強化するとともに、大学・学生と地域団体や企業、市町村とのマッチングの支援、府や市町村の事業に学生等が参画する仕組みづくり等を通じて、地域や地域産業を担う人材育成に取り組みます。

29 企業等と密接に連携し実践的な職業教育を行う職業実践専門課程を有する専門学校を支援し、若手人材の京都府内への就職・定着を促進します。

30 府立高等技術専門校において、社会のDX化を見据えたデジタル技術の習得など、産業構造の転換や社会環境の変化に即した職業訓練を通じて、人材育成を強化します。